



書名	著者名	出版社	出版年
忘れられた思想家 山川菊栄 フェミニズムと戦時下の抵抗	鈴木 裕子	梨の木舎	2022
[新版]ジェンダーの心理学:「男女」の思いこみを科学する	青野 篤子 他	ミネルヴァ書房	2022
ソ連兵へ差し出された娘たち	平井 美帆	集英社	2022
「慰安婦」問題ってなんだろう?: あなたと考えたい戦争で傷つけられた女性たちのこと(中学生の質問箱)	梁 澄子	平凡社	2022
世界を救うmRNAワクチンの開発者 カタリン・カリコ	増田 ユリヤ	ポプラ社	2021
オッサンの壁	佐藤 千矢子	講談社	2022
ジェンダーと政治理論—インターセクショナルなフェミニズムの地平	メアリー・ホークスワース	明石書店	2022
矯正という仕事 女性初の法務省矯正局長37年間の軌跡	名執 雅子	小学館集英社プロダクション	2021
アダム・スミスの夕食を作ったのは誰か? これからの経済と女性の話	カトリーン・マルサル	河出書房新社	2021
現代思想vol.50-5 特集インターセクショナリティ		青土社	2022
フェミニズムってなんですか?	清水 晶子	文藝春秋	2022
男性育休の教科書	日経xwoman	日経BP	2021
<トラブル>としてのフェミニズム「とり乱させない抑圧」に抗して	藤高 和輝	青土社	2022
あいつゲイだつて アウティングはなぜ問題なのか?	松岡 宗嗣	柏書房	2021
中高年男性の働き方の未来	小島 明子	金融財政事業研究会	2022
愛について アイデンティティと欲望の政治学	竹村 和子	岩波書店	2021
妻はサバイバー	永田 豊隆	朝日新聞出版	2022
男も育休ってあり?	羽田 共一	雷鳥社	2021
医療者のためのLGBTQ講座	吉田 絵理子	南山堂	2022
モラニゲ モラハラ夫から逃げた妻たち	榎本 まみ	飛鳥新社	2021
ルポ性暴力 独自取材でわかった被害者と加害者、その深い闇	諸岡 宏樹	鉄人社	2022
介護職・相談援助職への暴力とハラスメント	副田 あけみ	勁草書房	2022
女性移住者の生活困難と多文化ソーシャルワーク	南野 奈津子	明石書店	2022
共生社会をひらくシニア世代の子育て支援	大日向 雅美	日本評論社	2021
がんをデザインする	中島 ナオ	ニジノ絵本屋	2021
「閉経」のホントがわかる本	対馬 ルリ子	集英社	2020
おばあちゃんは、ぼくが介護します。	奥村 シンゴ	法研	2020
KUSAMA 愛、芸術、そして強迫観念	エリーザ・マツチェラーリ	花伝社	2021
映画の旅人 イランから日本へ	ショーレ・ゴルパリアン	みすず書房	2021

おっさんの掟「大阪のおばちゃん」が見た日本ラグビー協会「失敗の本質」 小学館新書417	谷口 真由美	小学館	2022
英語のジェンダー 開拓者言語・文化選書93	神崎 高明	開拓社	2022
女の子の謎を解く	三宅 香帆	笠間書院	2021
わたし、五十歳です 主婦からのキャリアアップ	森田 信子	文芸社	2022
あの図書館の彼女たち	ジャネット・ス Keslin・チャールズ	東京創元社	2022
妹たちへ:50代からの生き方のカタチ	関西学院大学ジェネラティビティ研究センター	アルソス	2021
田嶋陽子が人生の先達と考える女の老境	田嶋 陽子	マガジンハウス	1997
古代史から読み解く「日本」のかたち	里中 満智子、倉本一宏	祥伝社	2018
静かなる変革者たち 精神障がいのある親に育てられ、成長して支援職に就いた子どもたちの語り	横山 恵子	ペンコム	2019